合同教育研究会議（10月9日開催）議事概要

1 開催日時

令和元年10月9日（水）13:30～14:02

2 場所

本部棟3階 特別会議室

3 出席者

鈴木学長、狩野副学長兼企画本部長、堀江副学長兼事務局長、高橋教育支援本部長、似鳥学生支援本部長、村田研究・地域連携本部長、伊東国際教育研究部長、武田看護学部長、桐田社会福祉学部長、猪股ソフトウェア情報学部長、吉野総合政策学部長、千葉盛岡短期大学部長、松田宮古短期大学部長、大志田経営情報学科長、浅沼委員（学外委員：名古屋大学名誉教授）

（事務局）葛尾事務局次長兼総務室長、岡部教育支援室長、関屋高等教育室長、鎌田学生支援室長、藤村企画室長、長崎宮古事務局長、金戸主幹、和山主事

4 会議の概要

議事録確認

前回国議9月11日の議事録（議事概要）については、原案のとおり了承された。

審議事項

（1）学長選考会議委員の選出について（資料No.1）

葛尾事務局次長から資料に基づき、本会議から選出する次期の学長選考会議委員について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

協議事項

なし

報告事項（口頭報告）

（1）令和元年度 オハイオ大学・中部大学・本庄国際奨学財団との合同復興支援事業（通称：拡大水ボラ）の実施について（資料No.2）

関屋室長から資料に基づき、9月21日（土）・22日（日）の日程で実施した今年度のオハイオ大学・中部大学・本庄国際奨学財団との合同復興支援事業について報告があった。

（2）令和元年度岩手県立大学就職内定状況（9月末現在）について（資料No.3）

似鳥本部長から資料に基づき、9月末時点の就職内定状況について報告があった。なお、夏季休業期間中は正確な就職内定状況の把握が難しいことから、実際の就職内定状況は本報告よりも多いことが推測される旨の補足があった。

(3) COC+事業「ふるさと発見！大交流会 in Iwate 2019」について（資料No.4）

似鳥本部長から資料に基づき、11月23日（土）に開催するCOC+事業「ふるさと発見！大交流会 in Iwate 2019」についての報告があり、特に低学年の学生の参加の勧奨についての依頼があった。

(4) 岩手県立大学大学祭「鷺風祭」の開催について（資料No.5）

似鳥本部長から資料に基づき、11月2日（土）・3日（日）に開催する岩手県立大学大学祭「鷺風祭」について報告があった。なお、次年度以降の開催日程については、近隣の他大学の大学祭やマラソン等のイベントの状況を鑑み決定する方向である旨の補足があった。

(5) 学内における学生等の救護マニュアルについて（資料No.6）

似鳥本部長から資料に基づき、学内における学生等の救護対応のためのマニュアルを作成したことについて報告があった。なお、本救護マニュアルは、QRコードを利用してスマホ等からも閲覧できるように準備を進めているとの補足があった。

(6) 平成30事業年度業務実績に関する県評価委員会の評価結果について（資料No.7）

狩野本部長から資料に基づき、県評価委員会から示された平成30事業年度業務実績に関する評価結果について報告があった。

(7) 第三期中期計画期間における収支ギャップへの対応状況について（資料No.8）

葛尾事務局次長から資料に基づき、第三期中期計画期間における収支ギャップを解消する手段としての取組の9月までの対応状況について報告があった。

報告事項（資料報告）

(1) 令和元年度春季海外研修（スペインコース）の実施について（資料No.9）

委員から、海外研修等に参加した学生への参加後のフォローはどのように取り組んでいるか質疑があり、これに対し、参加すると学生の意識が変わるようだが、もう少し追跡調査をしたいとの回答があった。

(2) 高等教育の修学支援新制度の対象機関の確認について（資料No.10）

その他

鈴木学長から、科研費への多くの応募を期待している旨の発言があった。

藤村企画室長から、大学基準協会が発行した冊子「じゅあNo.63」を机上に配布している旨の説明があった。